

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 6 月 10 日 更新

事務事業名		水道事業建設改良事業（配水管等）						☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政 策	4	生活環境の健康						所属部	水道局	課長名	緒方 寿雄
	施 策	20	水の安定供給と排水の浄化						所属課	水道課	担当者名	松岡 将司
	施策の柱	60	水の安定供給						所属班	水道班	(内線)	5242
予算科目		会計企業	款	項	目	事業連番	根拠法令	地方公営企業法、水道法、合志市水道事業給水条例				
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始						事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要（PLAN）

【事業の内容】	上水道の配水管を新しく整備したり老朽化した配水管の布設替工事等を行なう事業である。本事業は、豊富低廉な水の供給を図り公衆衛生の向上と生活環境の改善を目的として昭和37年度から事業を実施している。水道使用者数（給水件数）は、本市の人口増加に伴い増加傾向にあることから、計画的な配水管等の整備・更新等を行い安定的な水の供給を図ることとしている。 (平成28年度末に竹迫地区簡易水道及び栄地区簡易水道を上水道へ統合した)
【業務の流れ】	上水道の配水管等整備のための①測量設計委託契約及び自主測量設計 ②実施設計書の作成 ③道路占用申請 ④工事請負契約の締結 ⑤上水道配水管布設工事監督 ⑥竣工検査 ⑦支払い事務
【主な予算費目】	款)1. 資本的支出(項)1. 建設改良費(目)1. 営業設備費(節) 工事請負費、委託料
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部（DO、PLAN）

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 市内全域における老朽化した配水管の布設替工事を行った。また、漏水調査等を元に漏水多発地域の配水管布設替のための設計業務委託等を行った。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 市内全域の漏水多発地域における配水管布設替工事および設計業務委託等	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア 上水道の普及率	%	御代志土地区画整理事業による国道387号線改良工事に伴い、メイン管工事が完了したため減を見込んでいる	
→ イ 上水道の配水管布設工事延長	m		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
上水道使用者		→ ア 給水人口(上水道使用者数)	人
		→ イ	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
安全で良質な水道水を安定的に使用できる		→ ア 上水道使用者のうち安全で良質な水道水を安定的に使用できた割合	%
		→ イ	
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠 上水道使用者に安定した水道水の供給ができた割合			総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費 の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込
① 活動指標	ア	%	99	99	99.8	99.4	99.8	99.8	99.8	99.8
	イ	m	4,695.7	4,572.3	4,000	5,362.3	4,000	4,000	4,000	4,000
② 対象指標	ア	人	63,171	63,858	64,785	64,233	65,432	66,086	66,746	67,406
	イ									
③ 成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	100
	イ									
投資 入費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	344,760	463,334	572,991	563,033	300,000	300,000	300,000
		繰入金	千円	3,661	3,969		3,807			
		一般財源	千円							
	(A)事業費計	千円	348,421	467,303	572,991	566,840	300,000	300,000	300,000	300,000
		(A)のうち指定経費	千円	3,661	3,969	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	6	5	5	5	5	5	5
		延べ業務時間	時間	1,708	1,121	2,000	1,121	2,000	0	0
		(B)人件費計	千円	6,678	4,266	7,968	4,082	7,968	0	0
	トータルコスト(A)+(B)		千円	355,099	471,569	580,959	570,922	307,968	300,000	300,000

事務事業名	水道事業建設改良事業（配水管等）	所属部	水道局	所属課	水道課
-------	------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5 年度的事後評価、ただし複数年度事業は 5 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5 年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒ 【理由】
	② 6 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり ⇒ 【理由】 ☐ 目標達成は厳しい ⇒ 【理由と対策】 次年度も引き続き漏水調査を踏まえ、老朽化した配水管の布設替え等を順次行なっていく。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒ 【理由】 配水池施設の整備と併せて配水管布設替え等の施設整備を進め、すべての上水道使用者に安定的な水道水を供給することとしているため、成果向上の余地はない。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ⇒ 【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒ 【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒ 【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒ 【理由】 上水道の配水管等の整備等を行う類似事業はない（平成28年度中には上水道事業と簡易水道事業を統合を行なった）
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒ 【理由】 老朽化した配水管の布設替えは必須事業であり、事業費についても可能な限り集約し競争入札によりコスト削減を図っていることから削減余地はない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒ 【理由】 最小限の予算で事業を行っているので削減余地は無い。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒ 【理由】 すべての水道使用者に受益機会があるため公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒ 【理由】 社会的に必要な不可欠なインフラ整備であり、市が行うべき事業であるため適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

安定した水供給のため次年度も引き続き布設替え工事を順次行っていく。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								